第4章 読書の好きな子どもが増えるための施策

基本目標Ⅰ：家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進

1 家庭や地域での子どもの読書活動の推進

(1) 乳幼児期からの読書活動の支援

乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
ブックスタートパック配付人数 (年間)	386人	500人

(2) 家庭読書の支援

家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
年齢別ブックリスト作成	1種類	5種類

(3) 地域の読書活動の支援

ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
ボランティア団体への団体貸出 (年間)	1,729冊 435冊	2,000冊 520冊

2 中央図書館における子どもの読書活動の推進

(1) 良質な図書の収集

(2) 中央図書館資料の学校への提供

中央図書館から学級文庫用として団体貸出（学校）をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
団体貸出(学校)の冊数	10,741冊 6,900冊	12,000冊 7,500冊

(3) 学校連携司書による中央図書館の行事企画

学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
中央図書館でのイベント参加者数 (年間)	144人	160人

(4) 学校図書館と中央図書館の情報共有

学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けでおすすめする本をホームページで紹介します。学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。

指 標	現状値 H28(2016)年度	目標値 2022 年度
学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数（年間）	0冊	20冊